



# 北相中学校だより

合い言葉は 「挑戦・貢献・創造・誇り」



令和5年度

No. 15

12月14日発行

## 人権週間といじめ防止活動 生徒会本部役員活躍

校長 望月はる美

12月10日は世界人権デーでした。「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。」ではじまる「世界人権宣言」が1948年に国連総会で採択されました。日本では毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から同月10日まで）を「人権週間」と定めています。この宣言が採択されてから75年が経つにもかかわらず、日本はもちろん、地球上のさまざまなところでいまだに「自由・権利・尊厳」といった言葉からほど遠い生活をしている人がいることは、とても悲しいことです。

10月25日(水)に「相模原市いじめ防止フォーラム」が開催されました。今年度は、「共に認め合う仲間づくりに向けて ～一人ひとりが自分らしく輝き、多様な人々が共に生きるために～」をテーマに、緑区内の市立小中学校・義務教育学校の代表児童・生徒がオンラインでつながり、いじめ防止に向けて、自分たちはどのような取組をしているのか、何ができるのか等についてグループ討議を行いました。北相中学校からは新旧生徒会本部役員が参加し、発表しあいました。その時の発表内容の一部を紹介します。



北相中では、いじめはあってはならないものと考え、「いじめゼロ」を目指して、3年間のローテーションで「いじめ防止」への取り組みを行っている。年に2回、生徒会本部役員が中心となって学級活動の内容を計画し、全校で取り組んでいる。

### ☆令和3年度「ペップトーク」

生徒会本部役員で「友人が困って相談してきた」などのシチュエーションを考え、そのシチュエーションに合った前向きな言葉掛けを各クラスで考える。

### ☆令和4年度「あたりまえの木を作ろう」

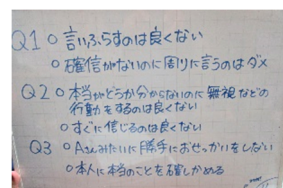
普通のあたり前ではなく、「これを北相中のあたりまえにしていきたい！」という考えのもと意見を集める。

### ☆令和5年度「Happy ワードを考える」

言われて嬉しくなったり、元気になったりする言葉を考えて意見を集める。

画面を通しての討議ではありましたが、各校の代表者との話し合いを通してより意識が高まったようです。

フォーラムで学んだことを全校生徒に広めるために、「いじめ防止活動」として1学期に考えた「Happyワード」について振り返るとともに、自分たちがフォーラムで取り組んだ「日常にある普段の学校生活で起こりそうな事例」について考える活動を12月11日(月)に各学年教室に本部役員が赴いて、担任の先生と協力して行いました。



相模原市では、毎年5月と11月を『いじめ防止強化月間』に位置づけ、学校の内外で様々な取組を展開しています。今、スマートフォンやSNSの普及に伴うインターネット上における誹謗(ひぼう)中傷といった人権侵害が社会問題となっています。先日公表された2022年度の文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校調査」では、いじめとして認知された約68万件のうち、「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」は2万3920件に上り、過去最多を更新するなど、子どもの間でのネットを使ったいじめは中学生にとって身近な問題になっています。これらの問題を解決し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他の人の人権に配慮した行動を取ることが大切ではないでしょうか。

## 生徒会本部役員の活躍 その2

12月2日(土)、「さがみはら生徒会長会議」がサン・エールさがみはらで行われました。北相中学校は今年度、「実践報告」を担当しました。市内の中学校・義務教育学校の生徒会長や本部役員、校長先生方があつまった全体会会場で、新旧本部役員5名が堂々とした態度で北相中の活動内容を発表してくれました。その後の分科会では3名の新本部役員がテーマに沿って各校代表と意見交換をしました。3人に感想をよせてもらいました。



・他校では身だしなみがちゃんとしていないや挨拶ができていないという問題がありました。身だしなみについては全校生徒に呼びかけるなどの意見が出て、挨拶ではみんなが仲良くなれば挨拶もしやすいという意見が出ました。北相中学校は生徒数が少ないので仲良くなれるような活動をすれば、挨拶が増えるのかなと思いました。 2年 会長

・大沢中学校の新しいことを積極的に取り入れるところがとても素晴らしいと思った。「前例がないから～」ではなくて、「試してみよう!」とできるところなど、北相中学校が見習うべきところがたくさんあった。生徒会長会議に行った意味があったなと思った。 1年 副会長

・他校の発表を聴いたり意見交流をしたりして、学校をよりよくするための今後の活動について詳しく知ることができ、とてもよい経験になりました。新しく知れた他校の工夫を、これからの学校生活や行事で活用することができればよいと思います。 2年 書記